

令和 5 年度教育課程研究集会  
中学校 技術・家庭（技術分野）

技術・家庭（技術分野）における  
「指導と評価の一体化」を進める授業改善  
— 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の充実—

令和5年8月  
奈良県教育委員会事務局  
高校の特色づくり推進課  
高校教育改革推進係  
指導主事 乾 祐士

# 学習指導要領改訂の考え方

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする  
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる  
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、  
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「**社会に開かれた教育課程**」の実現

各学校における「**カリキュラム・マネジメント**」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた  
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

**学習内容の削減は行わない**※

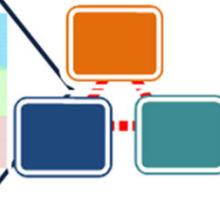
どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「**アクティブ・ラーニング**」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得  
など、新しい時代に求められる  
資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い  
理解を図るための学習過程  
の質的改善

主体的な学び  
対話的な学び  
深い学び



# 育成を目指す資質・能力の三つの柱

学習する生徒の視点に立ち、育成を目指す資質・能力の要素を三つの柱で整理。

学びに向かう力, 人間性等

どのように社会・世界と関わり,  
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を  
総合的にとらえて構造化

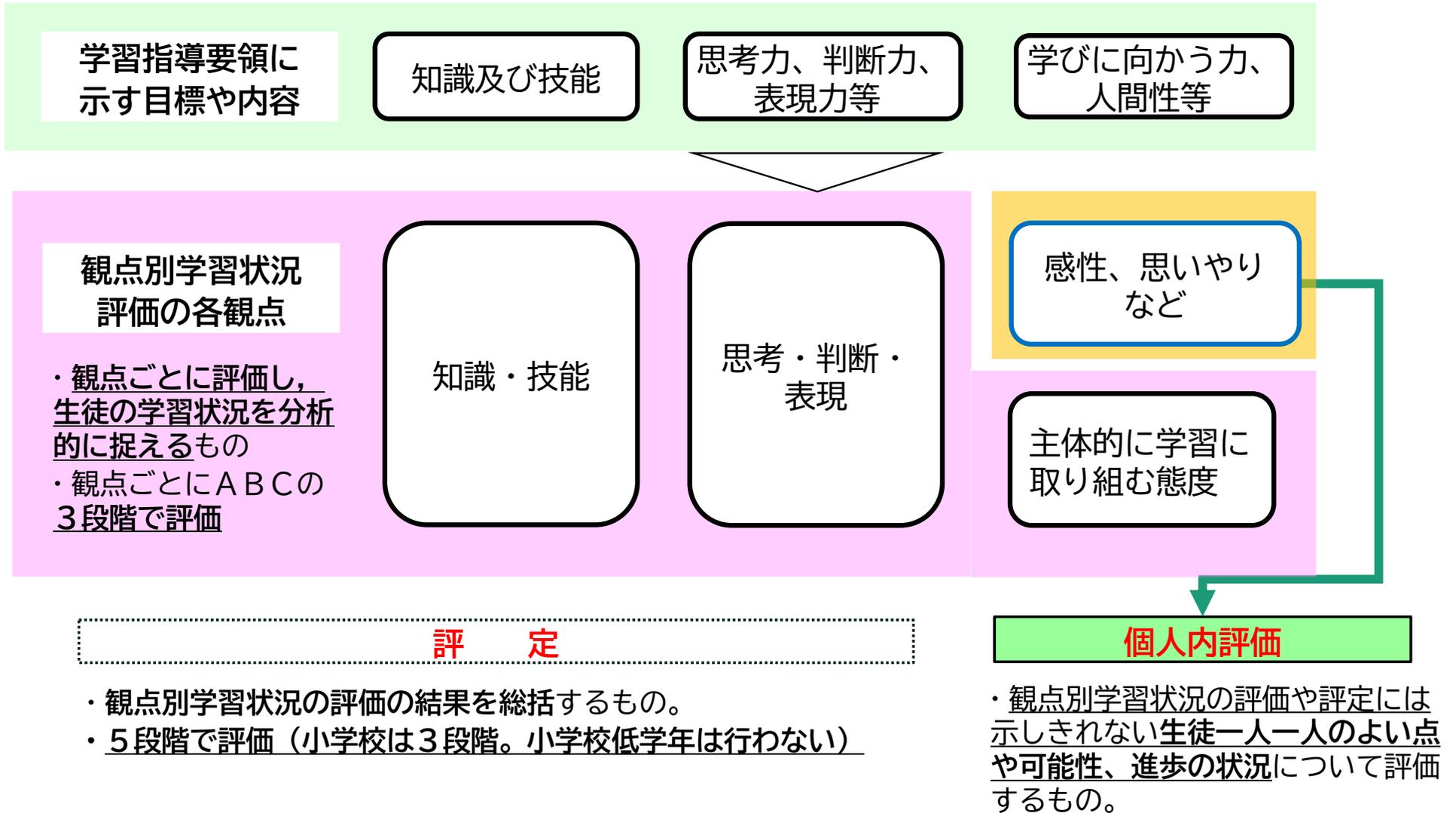
何を理解しているか  
何ができるか

知識及び技能

理解していること・できる  
ことをどう使うか

思考力, 判断力, 表現力等

# 各教科における評価の基本構造



# 技術分野の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

(1)	(2)	(3)
生活や社会で利用されている材料加工，生物育成，エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解を深める。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，製作図等に表現し，試作等を通じて具体化し，実践を評価・改善するなど，課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

# 「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の【観点ごとのポイント】

## 「知識・技能」のポイント

基礎的な技術について、その仕組みの理解やそれらに係る技能の習得状況を評価するものであり、技術に関係する科学的な原理・法則とともに、技術と生活や社会、環境との関わり及び、生活等の場面でも活用できる技術の概念の理解も評価する。

※ここでの評価規準は、基本的には当該項目で育成を目指す資質・能力に該当する指導事項アについて、その文末を分野の観点の趣旨に基づき、「～について（を）理解している」、「～ができる技能を身に付けている」として作成する。

### A 材料と加工の技術（1）内容

知識及び技能
ア 材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解すること。



### 評価規準

知識・技能
材料や加工の特性等の原理・邦器と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて <b>理解している。</b>

## 「思考・判断・表現」のポイント

技術を用いて生活や社会における問題を解決するための思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価するものである。技術分野の各内容は「生活や社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」の三つの要素からなる学習過程を踏まえて項目が設定されていることから、各項目では、一連の学習過程における位置付けを踏まえた思考力等を評価する。

※ここでの評価規準は、基本的には当該項目で育成を目指す資質・能力に該当する指導事項イについて、その文末を分野の観点の趣旨及び学習過程における各項目の位置付けに基づき「～について考えている」として作成する。

### A 材料と加工の技術（1）内容

#### 思考力、判断力、表現力等

イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること。



### 評価規準

#### 思考・判断・表現

技術に込められた問題解決の工夫について**考えている**。

## 「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

- ・粘り強さ（知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている側面）
- ・自らの学習の調整（粘り強い取組みの中で自らの学習を調整しようとする側面）



題材の学びの経験を通して涵養された、技術を工夫し創造しようとする態度

※ここでの評価規準は、基本的には、分野の観点の趣旨に基づき、当該項目の指導事項ア、イに示された資質・能力を育成する学習活動を踏まえて、文末を「～しようとしている」として作成する。

A 材料と加工の技術（1）内容

学びに向かう力、人間性等

※ 内容には、学びに向かう力、人間性等について示されていないことから、該当分野の目標(3)を参考にする。



評価規準

主体的に学習に取り組む態度

よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。

実践発表について

令和5年度教育課程研究集会  
中学校 技術・家庭(技術分野)